

# 国保税の引き上げ修正案に反対

## なぜ反対したか？・・・井之川博幸議員が討論

16日に開催された議会最終日の本会議で、国保税の10%超えの引き上げはそのままで、来年度からの実施にすると「修正」された議案と、市民が提出した「引き上げ中止を求める請願」は「不採択」としたとの民生福祉常任委員長の報告に、日本共産党市議団は反対し、井之川博幸議員が討論を行ないました。反対討論の要旨は次の通りです。

『議案については、国保税の引き上げは、「不利益不遡及」の原則などから、今年度中の引き上げは取りやめたにもかかわらず、来年度から今回提案されている「引き上げ」を実施する方向で修正されているにすぎません。国民健康保険は、法にも明記されているように「社会保障」の柱の一つですから、被保険者の負担は極力低くすべきであり、その責任は国にあることは明白ですが、国の方針で国保を運営している自治体にもその責任の一端はあります。本市の場合、「赤字繰り入れ」という理由であっても、一般会計からの繰り入れは実施してきたわけですから、市民の3割が加入し、国民皆保険のセイフティネットとなっている国民健康保険を守るために財源支援を引き続き実施し、国保税の引き上げは止めるべきでした。

請願については、地方における景気の動向は、決して良くなっているとは言えず、特に個人営業で、国保の被保険者である中小業者は、大手の企業との格差は開くばかりで、営業と生活は厳しい状況が続いています。さらに国保税の負担は、所得税・住民税などより

大きい場合がほとんどで、国保税の引き上げは直接生活に響いてきます。沼田市民である中小業者をはじめ、比較的所得の世帯が加入している国保は、これらの市民の生活を守っていくために、市が積極的に支援をして、国保税の引き上げは中止すべきと考えます。』



市議会に提出した「国保税引き上げ中止」請願

# 共謀罪法廃止・オスプレイ飛行反対！

## 利根沼田平和委員会が総会を開催

利根沼田平和委員会の第32回定期総会が18日、中央病院研修室で開催され、16年度の活動の報告および、共謀罪法の廃止やオスプレイ飛行に反対し、核兵器廃絶・沖縄の基地強化反対などの17年度の活動方針案が提案され、採択されました。新役員を選出では、佐藤卓三会長、穂苅清一副会長、阿部昌一事務局長の三役とともに5人の理事などが選出されました。



相馬ヶ原のオスプレイ訓練に反対

## 井之川博幸議員の一般質問報告

# 5歳児健診実施で発達障害早期発見を

井之川博幸議員は、上毛新聞に、「広がる5歳児健診・発達障害を早期発見、県内では本年度に前橋など8市町村が実施。県医師会は、マニュアルを示して普及に取り組んでいる」という記事が載っていたことを紹介し、本市での発達障害の早期発見について、現状での取り組みと5歳児健診の実施を求め、市長に質問しました。

市長は、「3歳までは各発達段階に応じた健診や相談事業において、3歳以降、就学までの期間は、保育園や幼稚園、療育施設等と連携して発達障害の早期発見、早期支援に努めております。5歳児健診については、今後、医師会とも協議しながら実施に向けて研究してまいります」と答えました。

また、井之川議員は、発達障害児（者）への支援・援助の取り組みについても質問しました。

市長は、「保育園・幼稚園・障害児通所支援事業所向けの支援を行う「コンサルテーション事業」、子どもと家族向けの「療育相談」、遊びを中心とした指導を行う「マザー・アンド・チャイルド事業」等を活用しています。また、教育委員会が所管する教育支援委員会等において適正な就学支援につながるよう情報共有を図っています」と答えました。

2017年6月25日 No.841

# いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料